

全国学力・学習状況調査結果を受けて (その①)

「結果分析を基に、各校の取組を考えよう!!」



©岡山県「ももっち」

調査結果を踏まえ、各校においては、結果の把握・分析を行い、組織的に取組を進めているところだと思えます。今号は、令和7年度全国学力・学習状況調査の岡山県全体の結果概要をお伝えします。

教科に関する調査結果

※ | 全国の合計の小数第1位を四捨五入した値と県の合計との差を算出

(1) 小学校

《平均正答率 (%)》

		国語	算数	理科	国算合計	差 ※
R 7	岡山県	67	56	57	123	-2
	全国	66.8	58.0	57.1	125	

(2) 中学校

《平均正答率 (%)》

		国語	数学	合計	差 ※
R 7	岡山県	55	48	103	0
	全国	54.3	48.3	103	

※中学校理科のIRTスコアは全国と同等であった。

児童生徒質問調査に関する調査結果

(3) 学びに向かう力

- ⑤ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた (主体的な学び)
- ⑥ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている (自己調整力)

《⑤・⑥肯定的回答割合 [単位: %]》

		小6		中3	
		主体的な学び	自己調整力	主体的な学び	自己調整力
R 7	岡山県	77.8	78.1	76.7	72.7
	全国	80.3	79.4	77.7	73.4

県教委による今後の重点取組

① 小学校算数における正答率40%以下の割合の減少

➡小学校算数の授業改善に向けた指導資料を作成し、あらゆる機会を通じて指導・助言を行う。

② 生徒の家庭学習時間の確保と主体的に家庭学習に取り組む仕掛け

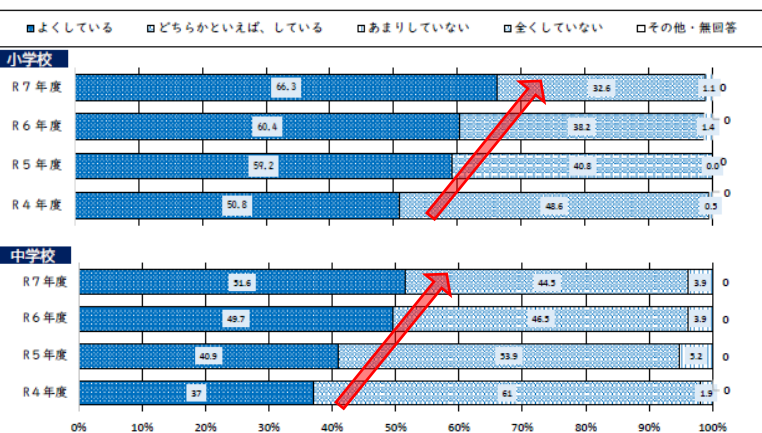
➡児童生徒が学ぶ目的を明確にして意欲的に学習に取り組めるよう課題解決型学習を推進し、学ぶ力の育成を行う。

ポイント



学校質問調査に関する調査結果

実践的な研修 経年推移グラフ



次号からは、各教科に関する調査から課題が見られた問題を取り上げ、指導改善のポイントを紹介する予定です。

県全体の主な成果

- 小学校・中学校ともに実践的な研修を「よくしている」と回答した学校が増加した。

校内研修の在り方や内容について、「学力調査の結果分析踏まえながら、個々の力を伸ばしていけるよう、授業改善にも努めていきたい。」  
「教員それぞれの思いをアウトプットし合い、授業力の向上を図りたい。」  
「研修で共通理解を深め、相互授業参観で実践交流をしていきたい。」といった声が学校から届いており、組織的な授業改善が広がっている様子がわかります。

令和7年度管理職のビジョンと戦略を支援する学校訪問【第1回】「訪問の記録」より



【参考資料】令和7年度全国学力・学習状況調査

結果の概要→



県全体の状況→

